



なっとくんの

なるほどなっとくニュース

Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

企画展「やまはくの天体望遠鏡」より

やまぐちほくぶつかん
山口博物館



やまぐちほくぶつかん
山口博物館では、1934年頃から天体観望会を行った記録が残っています。現在も、出前授業をはじめ観望会など、天体望遠鏡を使った天体観察を中心とした教育普及活動をおこなっています。

天体望遠鏡には、凸レンズや凹レンズが使われています。

凸レンズは、まわりより中央部分が厚くなっているレンズで、光を集める性質があります。



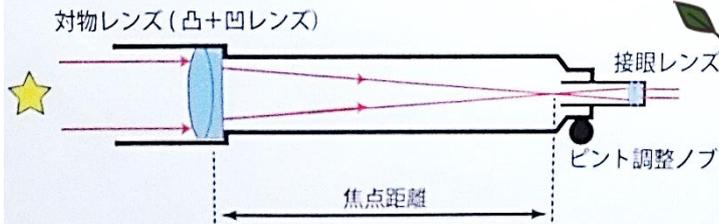
レンズに目を近づけて見ると・・・

凹レンズは、まわりより中央部分がうすくなっているレンズで、光を広げる性質があります。



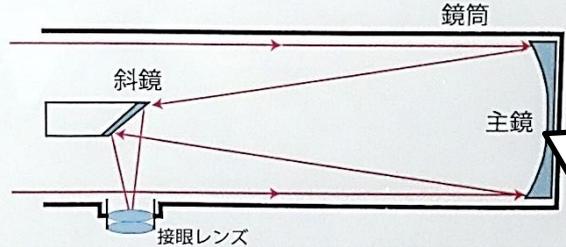
1941年購入 山口博物館

屈折式望遠鏡です。筒の両端に対物レンズと接眼レンズをとりつけ、拡大して見るしくみです。屈折式望遠鏡は向いている方向がわかりやすく、あつかいやすいため、初心者に人気があります。



山口博物館

イギリスの科学者ニュートンが1668年に発表した世界最初の反射式望遠鏡のレプリカです。反射式望遠鏡は、凹面鏡(対物主鏡)を使い、光を集めます。



見に来てね



企画展「やまはくの天体望遠鏡」では、ここで紹介した2台のほかにも、様々な天体望遠鏡やそのしくみ、教育普及活動の歴史について展示しています。天文台の見学ツアーも実施しています。詳しくは当館ホームページをご覧ください。